

☆交流学習について

西の里小学校では「豊かな人間性」を育成するために、特別支援学級（ひまわり学級）と通常学級が可能な限り活動をともしることによって、互いに理解し合い、助け合い、望ましい人間関係を育てることをねらいとして、交流学習を行っています。

交流の方法としては、年間を通して固定した学級と交流する「交流学級」を設定して、児童同士がお互いに、より深い関わりがもてるようにしています。学校行事や特別活動、実態に応じては教科などの場面において、よりスムーズな関わりをもてるよう配慮して進めています。

○交流場面の設定



- ・ 日常的な交流…朝の会、給食
休み時間、昼清掃
教科（児童の実態に応じて）
- ・ 行事交流…儀式的行事、運動会、現地学習
宿泊学習、修学旅行
- ・ その他の交流…全校集会、各種行事の練習
学年・学級レク
クラブ活動、児童委員会

交流を進めるにあたっては、「交流学級の担任の理解と協力が得られるように連絡を密にすること」「児童の実態を常に考慮し、弾力的に交流教育の推進を図ること」に留意しています。

○市内のお友達との交流

さらに、他校の支援学級との交流を計画し、西の里中学校をはじめ、市内の小中学校特別支援学級との交流を図っています。交流を通して、地域での人間関係を広げていきたいと考えています。

【年間の市内交流行事】

- ・ 市内特別支援学級合同宿泊（1泊旅行）
- ・ 市内特別支援学級合同運動会（総合体育館）
- ・ ひまわり合同学習（中学生との交流）
- ・ 市内合同作文集「たのしかった」作成
- ・ 市内特別支援学級合同カレンダーの作成と配布

